

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 11 巻第 25 号

第 25 週(6月20日 ~ 6月26日)

発行年月日:平成23年(2011年) 6月29日

発行 : 滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

腸管出血性大腸菌感染症多発警報は解除
咽頭結膜熱(プール熱)の警報、発令中
手足口病、マイコプラズマ肺炎は急増

一類～五類全数報告感染症の発生状況(第 25週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---**結核 7名**
- ・三類感染症---**腸管出血性大腸菌感染症 1名** (患者、血清型・毒素型:O157・VT2)
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---報告はありません

腸管出血性大腸菌感染症の発生については、県は6月17日(金)に、本年度第4回目の警報を発令(発令期間:6月17日(金)～6月26日(日))していましたが、6月26日(日)に解除しました。

今後も引き続き感染予防に対する注意(手洗いを十分にする。食肉の加熱時には、食品の中心温度を75℃1分以上加熱する。食肉を生で食べないようにする。患者からの二次感染に気をつける等)が必要です。

なお、腸管出血性大腸菌感染症の発生状況については、今週の発生状況に示すとおりです。

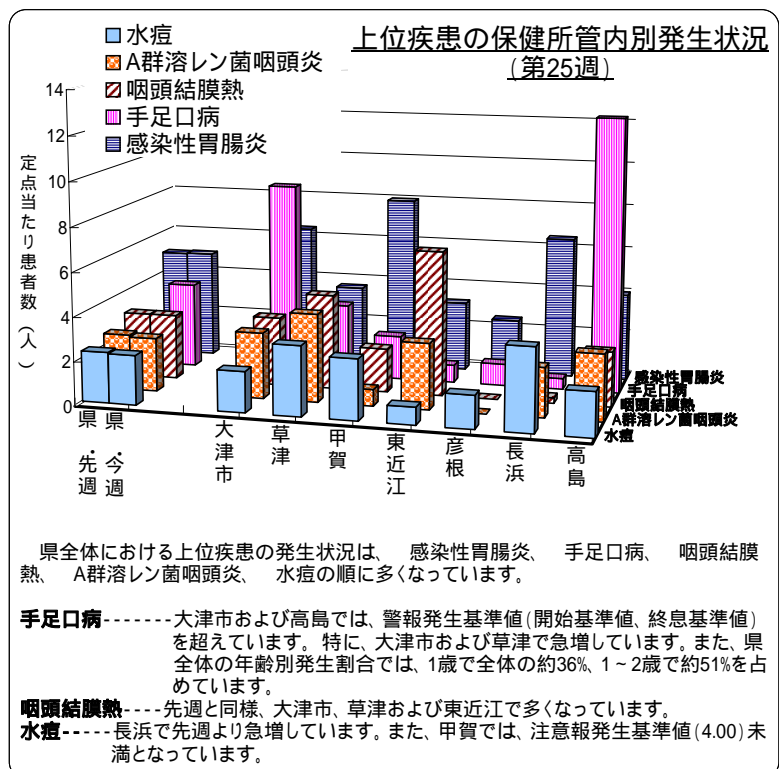
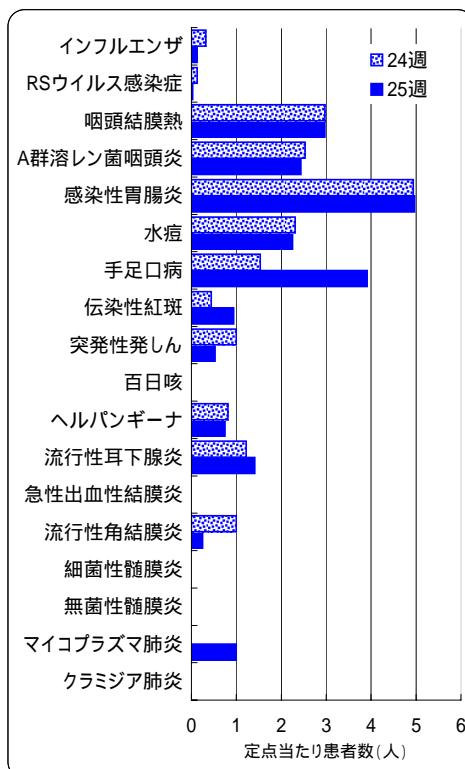
定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(597名)より増加し、今週は662名となっています。今週増加した疾患は手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)、マイコプラズマ肺炎等です。特に、手足口病では、大津市、草津および甲賀保健所管内で急増し、県全体では、先週の約2.6倍増となっています。減少した疾患はインフルエンザ、水痘、流行性角結膜炎等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、咽頭結膜熱については、先週に引き続き、県内全域に警報が発令されています。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。

警 報----咽頭結膜熱(プール熱) (警報開始基準値 3.00、警報終息基準値 1.00) 大津市、草津および東近江保健所管内
 手足口病 (警報開始基準値 5.00、警報終息基準値 2.00) 大津市および高島保健所管内
 ヘルパンギーナ (警報開始基準値 6.00、警報終息基準値 2.00) 高島保健所管内



県全体における上位疾患の発生状況は、感染性胃腸炎、手足口病、咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、水痘の順に多くなっています。

手足口病-----大津市および高島では、警報発生基準値(開始基準値、終息基準値)を超えています。特に、大津市および草津で急増しています。また、県全体の年齢別発生割合では、1歳で全体の約36%、1～2歳で約51%を占めています。

咽頭結膜熱----先週と同様、大津市、草津および東近江で多くなっています。

水痘-----長浜で先週より急増しています。また、甲賀では、注意報発生基準値(4.00)未満となっています。

1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成23年 累積報告数		平成22年 累積報告数 ^{(*)1}		平成21年 累積報告数 ^{(*)2}	
		滋賀 (25週)	全 国 ^{(*)3} (24週注)	滋賀	全 国 ^{(*)3}	滋賀	全 国 ^{(*)3}
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	156	13,087	251	26,704	256	26,996
三 類 感 染 症	コレラ	0	2	0	10 ^{**}	1	16
	細菌性赤痢	2	91	2	235	0	181
	腸管出血性大腸菌感染症	15	970	66	4,131	27	3,889
	パラチフス	0	13	1	21	0	27
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	31	0	66	1	56
	A型肝炎	0	127	3	346	0	115
	オウム病	0	8	1	11	0	21
	つつが虫病	0	131	2	406	0	465
	デング熱	1	41	2	245	0	93
	マラリア	0	30	0	76	0	56
	レジオネラ症	7	260	10	751	8	717
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	2	351	7	845	10	786
	ウイルス性肝炎	1	119	3	222	3	223
	急性脳炎	1	153	0 ^{**}	241	8	526
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	53	2	171	2	142
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	110	3	127	2	103
	後天性免疫不全症候群	2	636	1	1,549	9	1,446
	ジアルジア症	0	31	1	80	0	70
	梅毒	3	326	9	621	3	691
	破傷風	1	48	0	106	3	113
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	25	2	121	0	116
	風しん	2	200	5	89	2	147
	麻疹	1	323	1	455	7	732
	新型インフルエンザ 等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^{(*)4}	0	0	0	138	12,654
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	7	11	0	59	0	34

**：平成22年分の最終確認の結果、急性脳炎(滋賀)1 0、コレラ(全国)11 10に訂正しました。

注：25週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

*1：感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年3月現在)。

*2：感染症発生動向調査事業年報(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年4月確定)。

*3：全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

*4：感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間：平成21年7月24日～8月24日)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。
(患者報告数 = 定点当たり患者数 × 定点数)

(1)疾病別・週別発生状況(平成23年第20週～25週、5/16～6/26)

定点区分	定 点 数	疾 患 名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)									
			20週		21週		22週		23週		24週	
			5/16～	5/23～	5/30～	6/6～	6/13～	6/20～	21	22	23	24
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.79	0.36	0.25	0.49	0.32	0.13				
小児科	32	RSウイルス感染症	0.03	0.03	0.06	0	0.13	0.03				
		咽頭結膜熱(プール熱)	1.66	1.28	1.88	2.84	2.97	2.97				
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.63	2.78	2.38	3.31	2.53	2.44				
		感染性胃腸炎	7.44	6.41	5.63	5.19	4.94	4.97				
		水痘	2.03	2.75	1.41	2.41	2.31	2.25				
		手足口病	0.81	0.69	0.69	1.00	1.53	3.91				
		伝染性紅斑(リンゴ病)	1.06	0.59	0.47	0.81	0.44	0.94				
		突発性発しん	0.69	0.44	0.50	0.56	1.00	0.53				
		百日咳	0	0	0	0.06	0	0				
		ヘルパンギーナ	0.44	0.47	0.38	0.88	0.81	0.75				
眼科	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.31	1.22	1.50	1.56	1.22	1.41				
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0				
基幹	7	流行性角結膜炎	1.00	0.63	0.25	0.13	1.00	0.25				
		細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0				
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0				
		マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0.29	0.14	0	1.00				
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0				

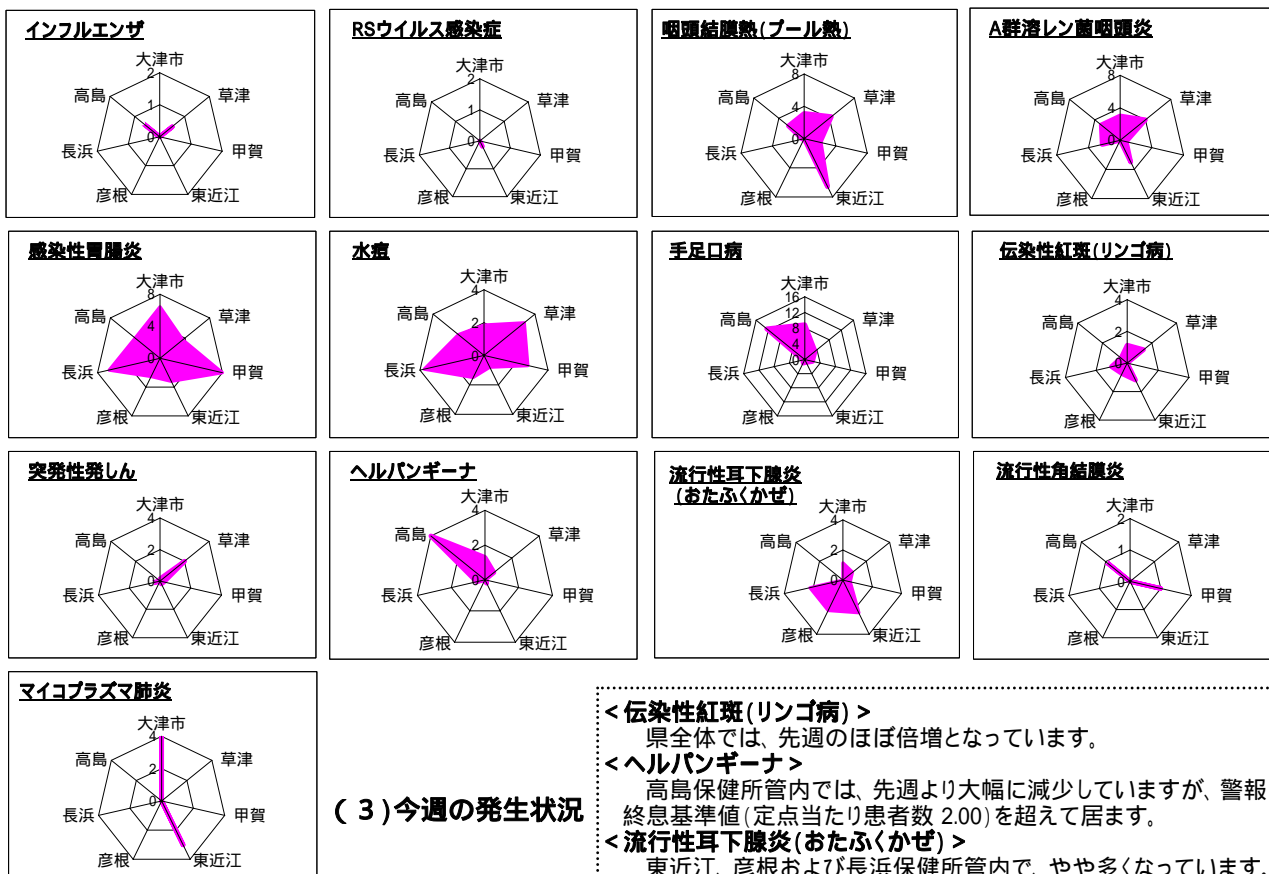
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第25週、6/20～6/26)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.13	0	0.50	0	0	0	0	0.67	
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	2.97	3.14	4.33	2.00	6.60	0	0.25	2.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.44	3.00	4.00	0.75	3.00	0	2.25	3.00	
感染性胃腸炎	4.97	6.43	3.67	8.00	3.20	2.50	6.50	4.00	
水痘	2.25	1.86	3.17	2.75	0.80	1.50	3.75	2.00	
手足口病	3.91	8.86	3.33	2.00	0.80	1.00	0.50	12.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.94	1.14	1.33	0	1.20	0.75	1.00	0.50	
突発性発しん	0.53	0.14	2.00	0.25	0.20	0	0.50	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.75	1.29	0.67	0	0.20	0	0.50	4.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.41	1.14	0.83	0.50	2.40	2.25	2.25	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.25	0	0	1.00	0	0	0	1.00	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	1.00	4.00	0	0	3.00	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。
青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

0 2 4 6
定点当たり患者数(人)

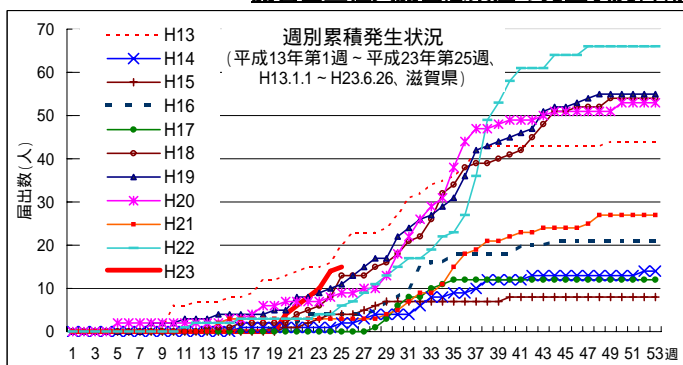
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

< 伝染性紅斑(リンゴ病) >
 県全体では、先週のほぼ倍増となっています。
< ヘルパンギーナ >
 高島保健所管内では、先週より大幅に減少していますが、警報終息基準値(定点当たり患者数 2.00)を超えて居ます。
< 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) >
 東近江、彦根および長浜保健所管内で、やや多くなっています。特に、彦根保健所管内では、先週より大幅に増加しています。
< マイコプラズマ肺炎 >
 大津市および東近江保健所管内で多くなっています。

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況(平成13年第1週～平成23年第25週、滋賀県)



平成23年6月29日現在における届出数は 16名 で、男性 8名、女性 8名です。診断の類型は患者 8名、無症状病原体保有者 8名です。

血清型・毒素型は

O157・VT1&VT2 8名、O157・VT2 3名、O26・VT1 4名、O6・VT2 1名です。

年齢は

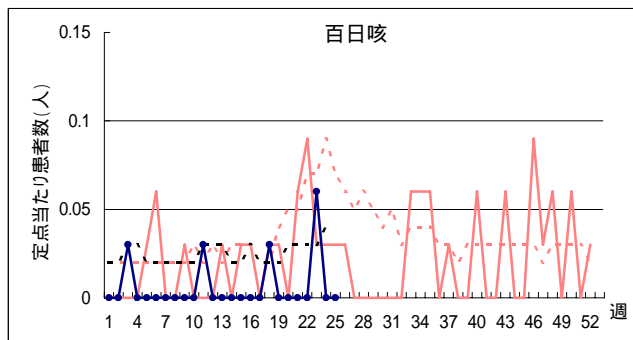
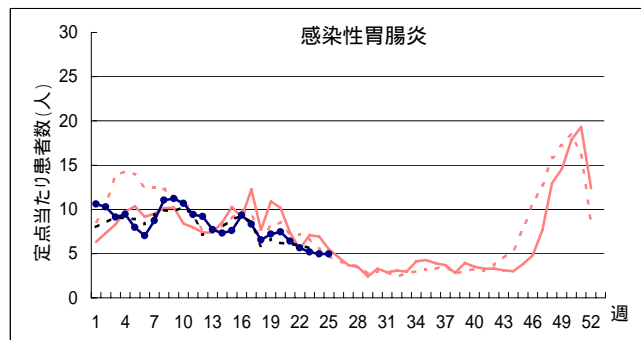
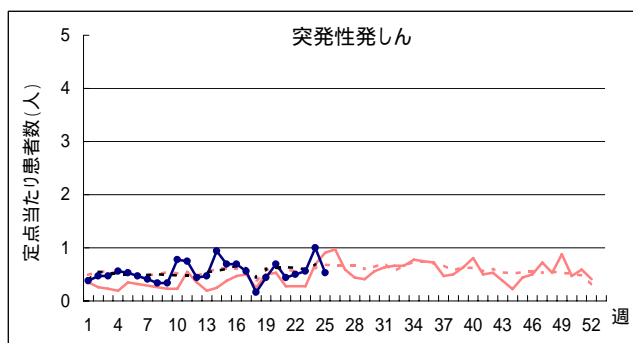
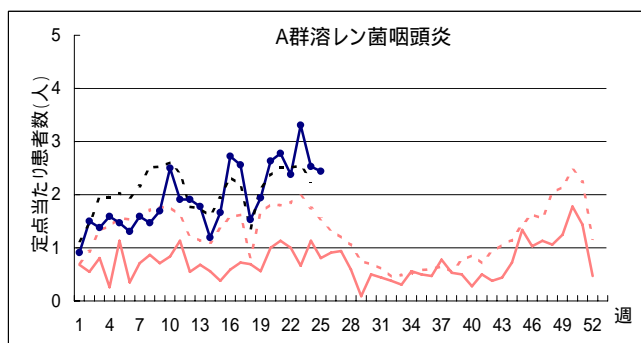
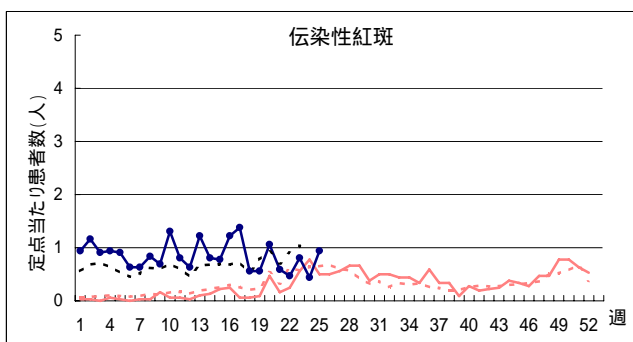
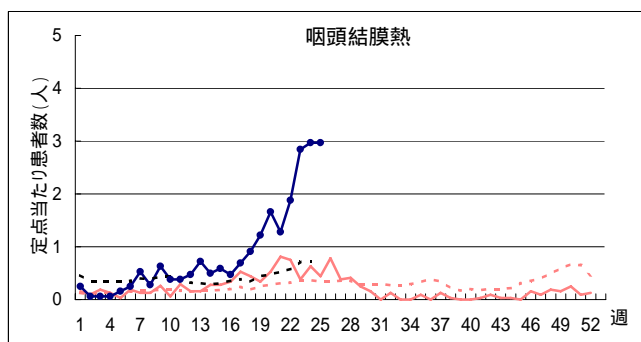
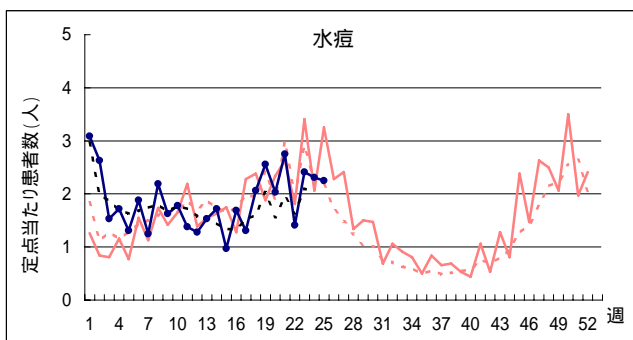
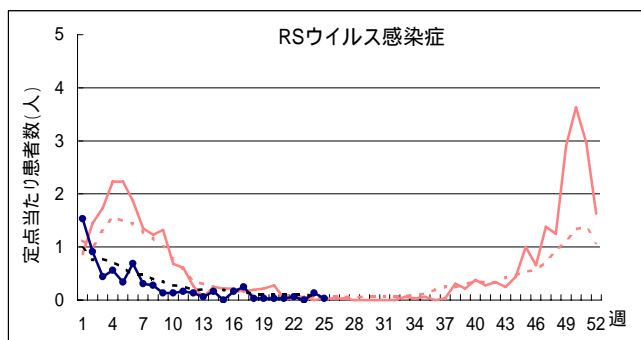
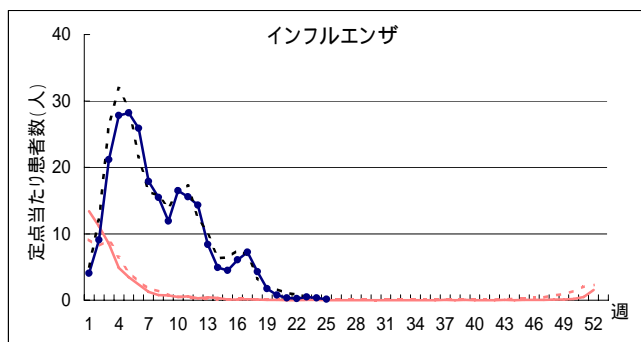
0～9歳 1名、10～19歳 1名、20～29歳 6名、30～39歳 5名、50～59歳 1名、70歳以上 2名です。

届出保健所管内別は

大津市 3名、草津 4名、東近江 6名、彦根 2名、長浜 1名です。

トップページに戻る

疾病別定点当たり患者数(平成23年第 1 ~ 25 週、H23.1.3 ~ H23.6.26)



疾病別定点当たり患者数(平成23年第 1 ~ 25 週、H23.1.3 ~ H23.6.26)

